

## 株式会社マグエバー

取材：2022年12月

「見えざる力」を見つめながら  
日本の誇りとともに明日に貢献したい

magnet+ever。磁石を通じた社会貢献がマグネット（永久磁石）のように  
永く続くことを願って付けられた社名である。

磁石製品のメーカーとしてアイデアを活かしたモノづくりを行い、  
さまざまな人々の暮らしの幅を楽しく豊かに拡大。  
提案型OEMや自社オリジナル製品の開発、さらには子ども向けの  
磁石教材の開発・提供などで、多くの場所に笑顔を運んでいる。

## 主な権利

2018年：特許 第6346692号  
2022年：特許 第7085720号  
2022年：意匠登録 第1718519号  
2020年：商標登録 第6253397号  
2021年：商標登録 第6372266号

## 会社概要

所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷5-1-10  
マイキャッスル千駄ヶ谷304  
電話：03-5369-7979  
URL：https://www.magever.net  
業種：磁石及び応用製品の企画・開発・製造・販売など  
設立：2009年（平成21年） 資本金：1,000万円



代表取締役 澤渡 紀子さん

強さと優しさを両立させた  
シリコンマグネットを開発

「家の中で磁石が付く場所って、そんな  
ないな」と思う方も多いだろう。だが、  
モノを掛けるフックなどの磁石製品が  
使える場所や用途の幅を大きく広げて  
いる会社がある。株式会社マグエバーだ。

澤渡社長は、父親が磁石を扱う会社を  
営み、その会社に勤めていたこともある。  
さまざまな経験を積み、就職以前にも父  
親と一緒に磁石の製造拠点のある中国へ  
行ったり、アメリカやヨーロッパを訪れ  
るなど、ワクワクしながら仕事の現場を  
見ていた。持ち前の明るさと行動力ととも  
に2009年に独立して会社を立ち上げた。

注目したのは、磁力最強のネオジム磁石  
をシリコン樹脂で被膜して、「強さ」と  
「優しさ」を両立させたシリコンマグネッ  
トだ。持ち前の人脈を活かして思い通り  
の製品が製造できるパートナーを探した  
結果、マレーシアで見つけて製品化に漕  
ぎ着けることができた。それが特許を取  
得している「マグネットフック」だ。この

画期的製品を拡販するために、澤渡社長  
自らがホームセンターなどで実演販売を  
行うなど、積極的に行動した。「店舗の人  
にもお客様にもアイデアを褒めていただ  
いたのですが、家の中ではそんなに磁石  
が付けられないという声を聞いているう  
ちに、私自身が磁石と磁石でサンドして  
カーテンなどに付けていることを思い起  
こしました。それを商品化したらどうか  
と思ったんです」と澤渡社長。そこで生  
まれたのが挟んで使うマグネットフック  
「マグサンド」。窓ガラスや木の扉などを  
2つの磁石で挟んでフックを取り付けら  
れる。

磁石と吸盤を一つにした  
強く画期的な「マグプラス」

その後はさらなる出会いとともに、仕  
事がますます活性化してきた。磁石が容  
易に剥がれてしまわないように、磁石と  
吸盤を一つにした「マグプラス」を開発。  
再び製品化へのさまざまな困難をクリア  
して秋田の能代で量産化が可能になり、

特許も取得した。かなりの耐荷重が実現  
し、耐候性や耐水性にも優れているため、  
屋外の防犯カメラ設置用など暮らしの中  
でいろんな場所に使用でき、可能性の幅  
がぐんと広がる。今後はBtoBで多くの  
企業と協働して新製品を生み出し、設置  
や収納エリアの拡大をサポートしたいと  
いう。

次々にユニークなアイデアが湧いてく  
るように見えるが、澤渡社長は「お客様  
から『使ってみたらこうなりました』など  
の話を聞いてヒントにしていることは多  
いです。あとは今までの経験を活かしなが  
ら、徹底的に改良すること。その繰り返  
しが積み重なって今に至っています。サ  
ンプルを作る中で、たまたま良い方向  
に向かうこともありますね」と語る。

近くて便利な場所にあるので  
通いやすい知財センター

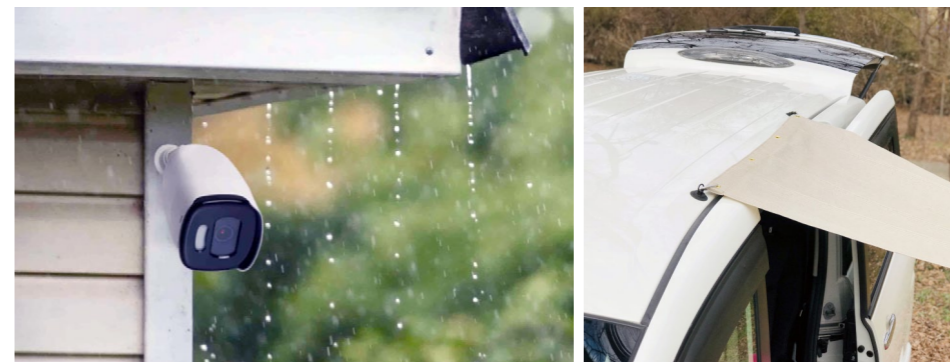
知財センターを最初に活用したのは、  
2019年に外国商標出願費用の助成申請を  
する際の相談だった。「公社はよく利用し



シリコンマグネットを進化させた「マグプラス」は、吸盤機能のある翼をマグネットの周囲に  
付けたうえ、ネジ受けを加えて商品化したもの。強度が増し、さまざまな場面に  
応用できる。



子どもたちが磁石の不思議や面白さを学べる磁石キット「MAGLAB（マグラボ）」も開発。  
子どもはもちろん、理科の授業の大きな助けになると学校の先生方からも喜ばれている。



「マグプラス」はシリコンマグネットで耐候性や耐水性にも優れているため、屋外での活用の幅がぐんと拡大。防犯カメラ、  
キャンプでのテント・日よけ・照明の設置などにも便利に使われている。



浴室の物干し竿に利用するなど、「マグプラス」によって暮らしのシーンは大きく広がる。

ていましたが、『知財センターでは相談も  
できますよ』と教えてもらったのが最初  
です。それで、こんなに近くて便利な場  
所にあるんだとびっくりしました」と澤  
渡社長。「それからずいぶん通うようにな  
り、とても勉強になりました。知財のこ  
とでも、知らないっていちばん怖いこと  
ですよ。おかげさまで最近では、国内  
の商標や意匠については、代理人を通さ  
ずに自分たちで出願手続きができるよう  
にもなりました」

できるだけ広い範囲で取得し  
「強い知財」にするのが大切

さらに、こう続ける。「特に中小企業に  
とって大切な、競合他社と戦うことので  
きる武器。それが、知財だと思います。  
いくら良い製品を生み出しても強い知財  
権を持っていないければ、資本金のある大  
企業に容易に真似されてしまいます。他  
の中小企業の社長さんたちと情報交換を  
しても、取得していた特許が一部の範囲  
に限定されていたために、結局は真似さ

れてしまったという話をよく聞きます。  
そうすることができないような特許、ど  
んな方向から攻められても守れる特許を  
取るためにはどうしたらよいか、知財セ  
ンターからもアドバイスをもらっていま  
す。社員と一緒に何度も足を運んで相談  
しながら勉強しましたし、メールでもい  
ろいろ教えてもらいました。特許は本当  
に奥が深い。ですから、経験も大事です  
し、いろんな意見も大事にしています」

長持ちする磁石製品は  
サステナブルで喜ばれる

磁石を通じて世の中の役に立つものを  
作りたいと語る澤渡社長。「磁石を使った  
モノづくりに関しては、日本が世界中  
でも秀でていると信じています。それに、

歴史をたどるとネオジム磁石もフェライ  
ト磁石も日本人が開発したものですから、  
誇りを持ってやっていきたい。こんな小  
さな会社ですけれど、頑張ってやらなけ  
ればと思っています。当社の磁石製品は  
長持ちしますし、すぐに捨てられること  
もありません。だから、地球にも優しい。  
私は『磁石の子』のようなものですから、  
磁石をよく知っているからこそできるこ  
とがこれからもあると思います。スタッ  
フのみならず、お客様の力もお借りして  
歩んでいきたいです」と朗らかに語った。  
磁石の「見えざる力」は、さりげなく多  
くの人の暮らしに貢献している。そして  
知財もまた、見えざる力であるとも言え  
るだろう。これからもマグエバーとい  
う会社が知財とともに、人々にささやかな  
幸せを引き寄せる力となるようお願い

知財  
センター  
から

## 自社でできることと代理人に任せることを仕分ける

元々知財意識が高く、特許・意匠・商標と着実な権利化を積み重ねてき  
ました。ただし特別な専門知識があるわけではなく、代理人を頼って知  
財に関する費用負担が大きくなっていました。知財センターの活用によ  
り、自社でできることと代理人に任せるところを仕分けして業務を行え  
るようになったのは大きな進歩です。 担当：阿部隆夫アドバイザー